

2006年2月  
地区B P祭  
立ちカマド  
コンテスト  
優勝作品

竹材の端の余りは  
10cm位

## 立ちカマドの作り方

座間第3団ボーイ隊

### ●なぜ立ちカマドを使うのか？

地面の上で直接「火」を燃やすのは地面の下の生物や自然環境に良くない影響がある。  
立ち位置で調理等できるので効率が良い。雨天、風向きにより方向、位置が変えられる。

### ●資材の準備

- |    |             |                       |
|----|-------------|-----------------------|
| 竹材 | 長い順①補強すじかい用 | 2本                    |
|    | ②三角あし用      | 4本（2本2組）              |
|    | ③横材         | 5本（手前下段、中段、天辺、奥下段、中段） |
|    | ④縦材（三角脚下段）  | 2本                    |
|    | ⑤縦材（三角脚中段）  | 2本                    |
|    | ⑥すのこ用       | 30本                   |

麻縄 両手を広げた長さのものを用意。余れば切り、足りなければ継ぎ足す。

### ●作り方（正しく、きれいに、力を入れて結ぶこと。見た目がきれいな工作物は丈夫です）

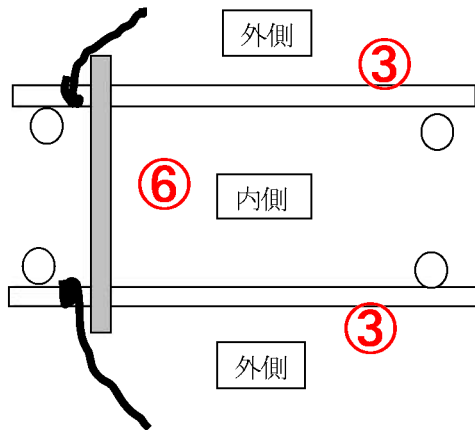
竹材は、サイズを測って切ってありますので、端の余りは10cm位が適当です。

- 三角脚を2組作る。（同じ大きさ、高さになるように時々確認する）  
②を2本重ねて上部20cmの所で「はさみしばり」  
これに下から10cmの所に下段④を渡し両端「角しばり」  
さらに下から60cmの所に中段⑤を渡し両端「角しばり」（2組同じ高さになるよう確認）
- 三角脚を離して、③を横に渡し、両端「角しばり」を5本  
このとき、中段の手前と奥の間に⑥の“すのこ材”がとどくか確認。
- 中段と、下段の間に①を使いすじかいをいれ、左右にぶれないようしっかり結ぶ。  
写真のように、斜めにすじかいをいれ、中間部分も結ぶとよい。

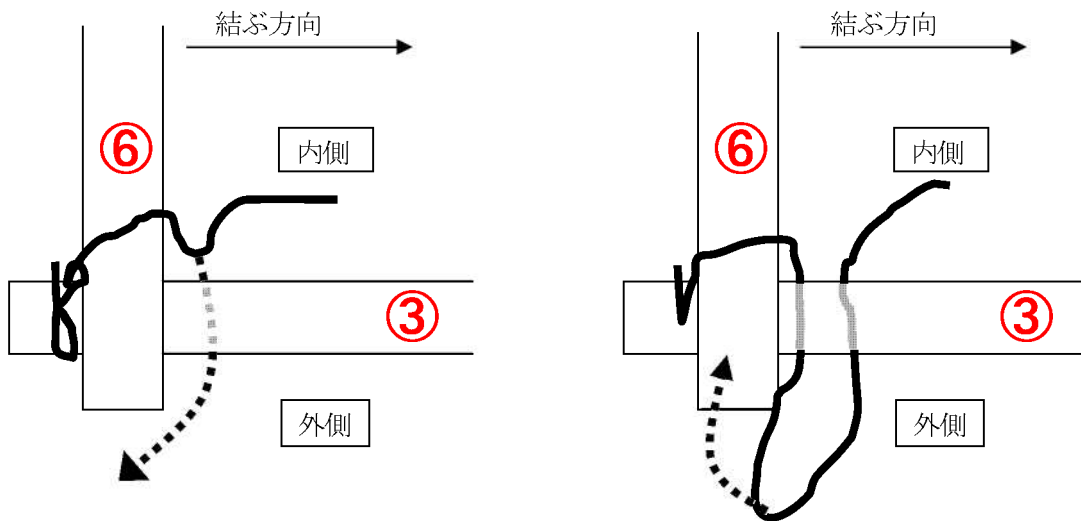
4. 中段③の上に⑥ですのこを敷く。

すのこ結び（手前、奥で一人ずつ2人同時に行うと楽）

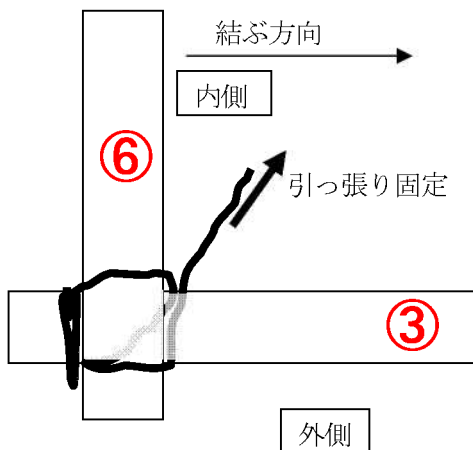
(1) すこし長めの麻紐を脚側の竹材③に巻きむすびで固定  
(上から見た図)



(2) 内側の手で麻紐で竹材⑥を超えて外側の手で麻紐を外につまみだす



(3) 外側の手で、ループを竹材⑥に引っ掛け、内側の紐を引っ張り、竹材⑥を固定する。(これの繰り返す) この時、ループを1回ひねり、引っ張る紐が竹材③側になるとゆるまない。



5. すのこができたなら、新聞紙や落ち葉を敷き、土がすのこから落ちないようにする。  
その上に10cm程土を盛り、平に固め火床を作る。